

第3回 Sleep Innovation Platform WG1 活動要旨

【日時】 2022年8月25日（木）15時00分～17時00分

【場所】 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構(WPI-IIS) ※一部オンライン各拠点

【参加者】 出席者数：24名

■ 参加者（於：WPI-IIS）17名

オブザーバー	山崎 牧子様、福永 俊明様	(経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課)
	渡辺 直樹様、岡崎 加奈様	(株式会社シード・プランニング様)
	坂井田 萌様	(NTT データ経営研究所)
アドバイザリーボード	柳沢 正史先生	(WPI-IIS)
座長	徳山 薫平	(WPI-IIS)
メンバー	小久保 利雄	(WPI-IIS)
	野々村 琢人	(西川株式会社)
	巢河 智、磯野 浩嗣、権太 圭吾	(日本生命保険相互会社)
	椎野 俊秀	(パラマウントベッド株式会社)
事務局	北本 嘉一、荒川 泰典、 森下 みゆ、青木 真理	(西川株式会社)

■ 参加者（オンライン）7名

メンバー	田川 武弘	(株式会社アシックス)
	大塚 竜太、石原 克之、 増富 裕文、大須賀 佑輔	(カルビー株式会社)
	木暮 貴政、山品 善嗣	(パラマウントベッド株式会社)

【内容】

■ ガイドラインの基本構成について

下記要素を、それぞれ切り離して整理したのち、章立ててひとまとめにしたガイドラインの策定を目指す。

- ・ 評価方法に関する整理
- ・ 広告表現する上での注意点の整理

■ガイドラインを策定する上で注意すべき懸念点の整理

- ・ **ガイドラインの厳密さについて**

基準が緩すぎると、ガイドラインとしての効力や信ぴょう性が下がることが懸念される一方で、基準を上げすぎると参入障壁となり、市場の活性化やガイドラインの普及の妨げとなる。そのため、両側面を考慮した上での最適点を検討する必要がある

- ・ **試験デザインに関するルール規定について**

エビデンスのピラミッドの頂部にある RCT (Randomized Controlled Trial) レベルが理想だが、医薬品と違って睡眠ソリューションや寝具すべてが RCT をできるわけではないので、どのような試験方法で行っていくべきかを検討していく必要がある

以上